

バグダッド 日誌 (1月16日)

○ 米海兵少将にお願い

- ・ MNC-1は部隊交代、MNF-1は、イラクの政治プロセスの重要な結節を控え、司令部内は何かとあわただしい。そんな中、斉藤隊長からの記念品を司令官へ贈呈すべく、朝から司令官のところへ向かった。ところが、司令官に会う直前にドタキャンされた。司令官副官から「司令官に急用が入り、執務室に戻れなくなった。幕僚長(米海兵少将)に渡して欲しい。」と言われた。「隊長から司令官への記念品」を(幕僚長へ渡して良いものか?)と返事に詰まる。
- ・ MNF-1幕僚長副官が「幕僚長は喜んでお会いになるそうです。幕僚長執務室前でお待ち下さい。」という。幕僚長に会わないともいえないし、幕僚長に司令官への記念品をこつづけるのも気が引ける。副官にきいてみると、司令官が多忙なため、ここではよくやっていることで、別に変ではないです。」との返事があった。
- ・ 幕僚長に会って、これまでのお礼を述べ、隊長から司令官への記念品を「幕僚長」に渡した。(急なことで幕僚長には何も用意していない)幕僚長は司令官に届けておくよ。」と軽くいって気軽に記念写真(写真左)に応じてくれた。米海兵隊少将に司令官へのお使いを依頼し、何となく「胸に落ちない」気持ちのままで写真に収まった。
(国井)

○ 部屋もない……

- ・ MNF-1幕僚長と会った後、MNC-1幕僚長(米陸軍准将)への記念品を贈呈しに「幕僚長執務室」へ行った。幕僚長のJOC内での席がないと昨日の日誌に書いたが、今日は驚いたことに「部屋」さえもなかった！！
- ・ 幕僚長執務室前の廊下で幕僚長にお会いした。○日には帰国される幕僚長(母親は今も大阪在住)に、我々も△日にはここを離れることを話し、これまでの御礼を述べるとともに、後任者を紹介して記念品を贈呈した。
- ・ 記念写真をお願いすると、「俺の部屋はないが、おかげで写真はいいのが撮れるぞ」と、パレス内の巨大なシャンデリアをバックに写真を撮った。(写真右) これまで私が最も怖いと感じていた幕僚長が、「宿無し」になった今日、昨日より一段と穏やかな表情をされていた。
(国井)

